

花のある 空間

大高 令子

※ 今月の花材 ※

秋紫陽花……ハイドランジア

変わりゆく色を楽しむ秋の紫陽花

紫陽花というと、梅雨どきの花というイメージが定着していますが、今回は、秋の紫陽花を単独で使ってみました。

かつては、梅雨どきに美しく咲いた紫陽花も、夏には退色して茶色く立ち枯れるイメージがありました。

しかし最近では、梅雨どきからその色を少しずつ変化させて、秋に出荷されるものも多く見られるようになりました。

梅雨どきのみずみずしい紫陽花に対して、秋の紫陽花は微妙な中間色に移ろう点が特色です。

ダイナミックなサイズと、何とも言えない色の妙で、オフィスの空間を秋の装いにイメージチェンジしましょう。



アレンジとしては、まず、花の周囲以外の葉を落としておきます。そこに水を溜めた少し深さのある器を用意して、投げ入れただけのシンプルなものです。

特に花留めを使わなくても、紫陽花同士が絶妙なバランスを醸し出して、器に収まってくれます。

生花として楽しんだ後は、茎を紐などでブーケ状に縛ってスワッグにしてもよいでしょう。

秋の乾いた空気なのか、色だけでなく、ドライへと変化する秋紫陽花は、非常に長い期間、楽しむことができます。

状態がよければ、数年間、鑑賞できることもあります。

ぜひ、試してみてください。

